

運営推進会議開催報告書

下記事業所について、次のとおり運営推進会議を開催したことを報告します。

1. 基本情報

事業所名	都筑区医師会ナーシングホーム		
サービス種別	看護小規模多機能型居宅介護		
所在地	横浜市都筑区牛久保西1-20-21		
担当者	吉井 涼子	連絡先	045-913-6321
運営法人	一般社団法人 横浜市都筑区医師会		

2. 開催日時・場所

日時	平成30年3月9日13時30分～14時00分	場所	医師会館理事長室
----	------------------------	----	----------

3. 出席者

氏名	分野	備考(所属・従事経験など)
木下 均	地域住民の代表者	牛久保西町内会 会長
松本 裕 (欠席)	地域住民の代表者	中川地区民生委員児童委員協議会 会長
成田 真一	当該サービスに知見を有する者	中川地域ケアプラザ 所長
堀元 隆司	当該サービスに知見を有する者	堀元歯科医院 院長
斉木 和夫	当該サービスに知見を有する者	斉木クリニック 院長
小林 雅子	当該サービスに知見を有する者	小林クリニック 副院長
小川 憲章	当該サービスに知見を有する者	小川メディカルクリニック 院長
谷合 清佳	市の職員又は地域包括支援センターの職員	都筑区役所 高齢者支援課係長
大山 学 (欠席)	法人代表	
吉井 涼子	管理者	
宮島 佳代	看護主任	
箕輪 善果	看護リーダー	
石濱 千秋	計画作成者	
青柳 かおる		
後藤 瑞佳	事務	
加藤 萌子	事務	

4. 活動状況報告

別紙のとおり

(裏面あり)

5. 活動状況に関する評価・意見・要望

1. 年度末の決算の状況を知りたい、赤字か黒字か？
2. 人手が無いのであれば、地域の大学生のボランティアなどに声をかけてもいいのでは？
⇒企画・運営も学生に全て任せるのもあり。
3. 医療的にも介護的にも頑張っているが、もっと地域に密着して、この施設が地域で愛される施設でなしてほしい。地域とのやり取りのために外渉担当などがいればいいのでは？
⇒イベントなどを企画するのは大変だから、まずは場所貸しからだどやり易い。外部との交流にもなる。医療に強いのは強みになる。

6. 評価・意見・要望に対する考え・取組

1. 決算が出るのが5月末なので、5月の会議には無理ですが、6月には報告するが、赤字。登録が20名を超えないと難しい、単独では登録者数の増やすことは難しいため。在宅事業部全体で考えていく。
2. 3日々の業務に追われて、地域を巻き込んだイベントやレクレーションなどできていない。ボランティア育成のノウハウもないため、地域ケアプラザに相談し、地域との交流の方法やボランティア導入方法を相談し、実現させる。自分たちで直ぐできるのは、医療的な講座など

7. 地域からの情報提供

特になし

8. その他特記事項

常勤スタッフの自己評価後、事業所評価をし、運営推進会議で皆さんから評価を得た。

活動状況報告書(小規模多機能型居宅介護・看護小規模多機能型居宅介護)

1. 基本情報

事業所名	都筑区医師会ナーシングホーム		
所在地	横浜市都筑区牛久保西1-20-21		
担当者	吉井 涼子	連絡先	045-913-6321
運営法人	一般社団法人 横浜市都筑区医師会		

2. 登録者の状況

登録者数(12月1日現在)	女性 8 名		男性 6 名		計 14 名	
要介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請・区変中
	1 名	2 名	1名	3 名	7 名	0 名

3. サービス提供回数(会議開催の前月分)

登録者	年齢	通い	泊まり	訪問看護	訪問介護	備考(入所日、退所日など)
ア	58	19	0	1	0	
イ	82	19	0	1	0	
ウ	93	12	8	2	0	
エ	70	10	8	4	11	2/15開始
オ	98	13	10	4	70	
カ	97	24	21	2	6	
キ	86	5	4	0	6	
ク	73	8	0	4	15	
ケ	89	28	28	27	0	特別指示書2/1~14
コ	79	19	15	0	7	
サ	55	7	0	0	22	
シ	76	12	0	4	0	
ス	77	24	22	0	3	
セ	69	12	0	0	12	
ソ						
タ						
チ						
ツ						
テ						
ト						
ナ						
ニ						
ヌ						
ネ						
ノ						
ハ						
ヒ						
フ						
ヘ						
合計		212	116	49	152	
平均	78.7	15.1	8.3	3.5	10.9	

(裏面あり)

4. 運営方針

事業所の目標	【利用者の獲得】1. 適切な職員の確保と黒字転換 2. 「ケアの理念」の実現 「ケアの理念」: その人の「生きる」を支える。寄り添い、理解し、尊重する
目標に向けた具体的取組	1. 求人活動と既存の職員が充実した仕事ができ辞めないようにする 2. カンファレンス記録による情報の共有をしている 3. 利用者や家族の意向を反映した多職種でのケアプランの作成と共有を目指している 4. 研修計画の実施

5. 活動報告

1月12日(金) ナーシングホーム運営推進会議 1月15日(月) 安全衛生委員会・管理者会議 1月20日(土) キネステティック勉強会(移乗、オムツ交換など) 2月2日(金) 豆まき 2月23日(金) 看取りケア研修会 第1回

6. 事故・ヒヤリハット報告

内容	① 短期利用の車椅子対応の利用者の入浴介助のため、本人のリクライニング車椅子で脱衣していた。車椅子のアームレストを跳ね上げリクライニングを倒した状態で脱衣介助したが、跳ね上げたアームレスト差込口が、リクライニングすると肩に当たるように飛び出した状態になっていた。車椅子の構造を熟知していなかったこと、介助中の観察が十分でなかった。脱衣後に右肩に10.0mm×10.0mmの表皮剥離と周囲に皮膚発赤20mm程度みられた。 ② 利用者の右手爪きりの際に小指の先端を爪きりの角で傷つけてしまった。右手は不随に急に動いたため手首の固定具はつけていたが、不意な動きに対応できなかった。 ③ 当該日より泊りの利用者が、1回/日の抗生物質が開始されていたが、看護師が、持参薬を確認する際に見落としてしまった。翌日、他の看護師が気づき薬を開始した。ご家族と主治医に連絡し謝罪。
改善策	①利用者ごとに異なるためリクライニング車は特に構造を確認する。 ②今後は電動やすりを使用することとした。 ③薬の変更時は薬説明書を持参してもらう、持参薬は、細かく確認する。

7. 地域への情報提供

特に無し

8. その他特記事項

事業所評価を運営推進会議において評価をもらった。
